

THE WEST COAST

30/8/2021 発行

The Japanese School (Secondary) 201 West Coast Road Singapore 127383 Tel 67797355

「共に」と「世界平和デー」と「学べる幸せ」



今日から長い2学期(授業日83日)が始まります。1学期には感染予防措置の規制下、保護者の皆様のご理解ご協力と、生徒の皆さんは規制に辛抱強く耐えながらも前向きに取り組み、大きな成果を上げることができました。2学期も感染規制措置により、先がすっきりと見通せない状況ですが、1学期以上に実り多き2学期となるよう職員一同尽力して参ります。保護者の皆様、引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。生徒の皆さん、感染症予防を第一優先とし健康に留意して共に頑張りましょう。

さて、以前平和という視点でオリンピックを観戦することを綴りました。いかがでしたか。今大会では、オリンピックのモットー、「より速く・より高く・より強く」に「共に」という言葉が加えられました。それを象徴する場面も多く見られました。陸上男子800mでは、アメリカの選手が転倒それにボツアナの選手が巻き添えとなり転倒。その後は共に手を取り合い立ち上がると最後は二人でゴールする心温まる場面がありました。また、スケートボード女子パークでは、日本の岡本選手が転倒し涙で競技を終えたとき、すぐにオーストラリアとアメリカなどの選手が岡本選手に駆け寄り、皆で抱き上げ健闘をたたえつつ悔しさを共に分かち合う場面がありました。女子サッカーでは、日本対イギリス戦の開始前に、イギリス選手が人種差別に対して、片膝をつき抗議の意思を表す行動をとると、日本選手も共感して行動を共にする場面がありました。「共に」の先にめざすもの、願いは様々かと思いますが、私は人々が互いに理解し合い、共に支え合い、そして互いの人権が大切にされその先に願うものは、やはり平和な世界であると受け止めました。

今大会もコロナ禍対応等を含め様々な課題はありましたが、平和の祭典としての大きな役割を果たした東京大会であったと思います。そのようななか、突如としてアフガニスタン政権がイスラム主義組織の指導者に代わるという、世界を震撼させる出来事が起こりました。注目される課題はたくさんありますが、特に女性蔑視による人権の問題がニュースの中でもクローズアップされていました。以前パキスタンでもイスラム過激派により女性の社会参加と学ぶ機会が制限されていました。そのことに、幼いながら勇気をもって学ぶ権利を主張し続け、スクールバスの中で凶弾を受けたマララ・ユスフザイさんのことも世界中が注目するニュースとなりました。学校の図書室にも関係する本があり、多くの皆さんも知っていることと思います。その後、17歳でノーベル平和賞を受賞、19歳で国連平和大使となり国連総会での演説で「1人の子ども、1人の教師、1冊の本、そして1本のペン、それで世界を変えられます。教育こそがただ一つの解決策です。エデュケーション・ファースト(教育を第一に)」という言葉は世界中に共感を与えました。今現在も、紛争が続く国や地域があり、多くの子どもたちが学ぶ環境や学ぶ権利を奪われている現実があります。中には、皆さんと同世代の子どもたちが戦闘員として駆り出されているところもあります。平和の尊さ、学べる幸せについても一度考えてほしいと思います。図書室に「ぼくたちはなぜ、学校に行くのか」という本を1学期末に入れてもらいました。その本にはそれらのことがとても分かりやすくまとめられています。関心のある人はぜひ手にして読んでみてください。

また、今年はイングリッシュショートホームルームで、シンガポール人種デー(7月21日)とオリンピックの意義についてご指導いただき、この後世界平和デー(9月21日)にもふれていただく予定です。オリンピック観戦に引き続き世界平和について目を向け、その思いや願いを深められることを期待しています。そして今、私たちがシンガポールにおいて、平和で安全な社会で暮らせることも、当たり前前に学校に通い勉強できるという恵まれた現実も、多くの人のたゆまぬ努力と一人一人の理解と協力により成り立っています。その根底には、「共に」平和でよりよい社会であってほしいという、世界共通の願いに支えられていることを、改めて子どもも大人も共に考えられるといいなと思います。

おわりに、今パラリンピックが開催されています。始業式でお話したことを含め、多様性への理解や誰もが社会参加できるバリアフリーを推し進める力につながる大会となるよう、オリンピックと同様に選手を応援し素晴らしいパフォーマンスを観戦してほしいと思います。



保護者の皆様へ 2学期も引き続きよろしくお願い致します

巻頭語のお願いと共に、重ねてではありますが、改めて2学期も本校の教育活動へのご協力とご支援をお願い申し上げます。

さて、8月の中旬にシンガポール国内の私立学校に対して、感染症予防措置に係る第46回の通達がありました。これによる学校安全措置の更新により次のような活動が可能になります。

- ①グループサイズが5人までとなりました。
- ②英語の習熟度別学習が再開できます。
- ③特別教室にて対面で学習することができます。

以上の他に細かい規制緩和がありました。それらを基準として、可能な範囲で最大限の教育活動を実施してまいります。その様な状況下で、一度ご案内したことについて、感染状況や関係当局の通達により変更を余儀なくされ、ご迷惑をおかけすることも懸念されます。学校でも情報を精査し、変更の生じないタイミングでご案内等の準備を進めていきたいと思っております。

また、今後はワクチンの接種状況が、個々の行動やグループ編成上の条件となり得る事が予想されます。その際には、ワクチン接種状況等を確認させていただく場合がありますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

いろいろとお願いばかり申し上げましたが、何といたっても新型コロナ感染症予防を最優先として取り組んでまいります。引き続きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。